

2016年3月期 第2四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2015年10月30日

＜免責事項＞本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

USHIO

-
- I. **第2四半期業績概況**
 - II. 通期業績見通し
 - III. 参考資料

今回の決算発表のポイント

連結売上高、前年比19.2%増の886億円
連結営業利益、前年比63.1%増の65億円となり、増収増益決算
— 通期計画は売上高1,800億円、営業利益130億円を据え置き —

装置事業

映像装置

円安効果に加え、レーザープロジェクタの販売や日本国内での映画館施工工事の増加によりYoYで34%増収。

光学装置

光配向装置は検収された案件数が前年同期を下回るも、不調だった各種デバイス向け投影露光装置が大幅増収しYoYで横ばい。

営業利益

円安効果と販管費削減などによる映像事業の収益性向上により装置全体で赤字解消。

光源事業

放電ランプ

UVランプ、シネマ用ランプは為替影響も大きいものの、固体光源の増収によりYoYで18%増収。

ハロゲンランプ

為替影響により前年同期比で2%の微増収。

営業利益

固体光源の増収が牽引し、37%増益。

対通期公表値進捗

(億円)	1H	進捗率 (%) (対通期公表値)	上期公表値	通期計画
売上高	886	49.2	850	1,800
営業利益	65	50.3	60	130
営業利益率 (%)	7.4	-	7.1	7.2
経常利益	75	50.5	70	150
親会社株主に帰属する 当期純利益	54	45.6	60	120
EPS (円)	42.14	-	45.96	91.91
ROE (%)	-	-	-	5.7
配当 (円)	-	-	-	26
配当性向 (%)	-	-	-	28.3
設備投資額	30	31.4	-	96
減価償却費	31	43.7	-	72
研究開発費	53	48.2	-	110
為替レート (円)	USD	122	-	120
	EUR	135	-	138

業績サマリー

(億円)	FY14	FY15	YoY		FY15	FY15	対計画	
	1H	1H	増減	%	1H計画	1H実績	増減	達成率 (%)
売上高	743	886	+142	+19.2	850	886	+36	+104.3
営業利益	40	65	+25	+63.1	60	65	+5	+109.1
営業利益率 (%)	5.4	7.4	+2.0P	-	7.1	7.4	+0.2P	-
経常利益	51	75	+24	+47.1	70	75	+5	+108.2
親会社株主に帰属 する当期純利益	44	54	+9	+21.7	60	54	▲5	+91.1
EPS (円)	34.48	42.14	+7.7	+22.2	45.96	42.14	▲3.82	-
為替レート (円)								
USD	103	122	+19	+18.8	120	122	+1	-
EUR	139	135	▲5	▲3.3	138	135	▲3	-

為替による通期の 影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
対 USD	10	1	1

業績サマリー 《四半期比較》

(億円)	1Q	2Q	QoQ	
			増減	%
売上高	411	474	+63	+15.4
営業利益	23	42	+18	+79.5
営業利益率 (%)	5.7	8.8	+3.2P	-
経常利益	33	42	+9	+28.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	26	28	+2	+8.2
EPS (円)	20.18	21.98	+1.8	+8.9
為替レート (円)				
USD	121	123	+2	+1.3
EUR	133	136	+4	+2.7

セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

(億円)		FY14	FY15	YoY		FY15	FY15	QoQ	
		1H	1H	増減	%	1Q	2Q	増減	%
装置事業	売上高	387	479	+91	+23.6	212	266	+54	+25.8
	営業利益	▲4	5	+9	-	▲1	6	+8	-
	営業利益率 (%)	▲1.2	1.1	+2.3P	-	▲0.9	2.6	+3.5P	-
光源事業	売上高	340	391	+50	+15.0	192	199	+6	+3.3
	営業利益	43	59	+16	+37.0	25	34	+8	+34.5
	営業利益率 (%)	12.8	15.3	+2.5P	-	13.2	17.2	+4.0P	-
その他事業	売上高	15	15	▲0	▲0.4	6	8	+2	+34.9
	営業利益	0	0	▲0	▲31.2	▲0	0	+0	-
	営業利益率 (%)	2.6	1.8	▲0.8P	-	▲3.8	6.0	+9.8P	-

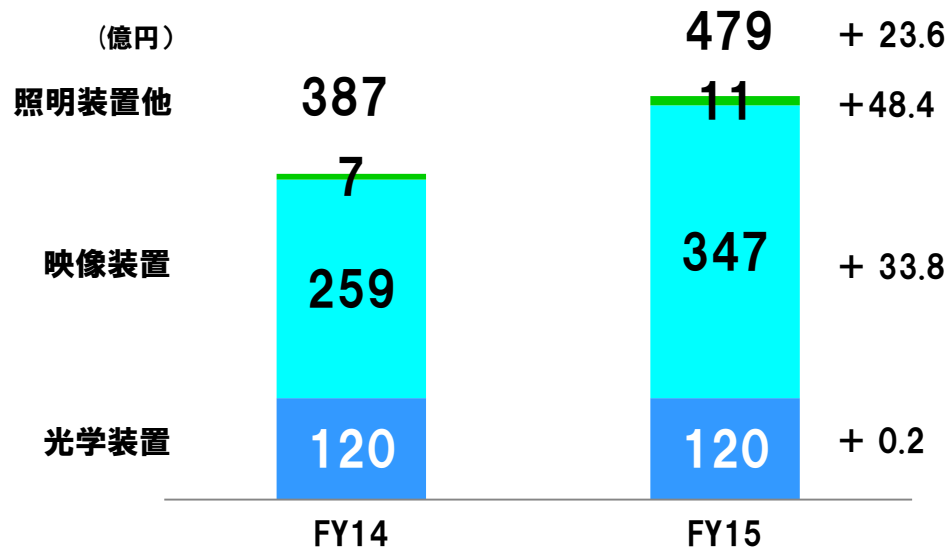
注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

装置事業セグメント概況

《1H前年比較》

売上高

増減(%)



映像装置

シネマ用レーザープロジェクタと、一般映像用新型プロジェクタが牽引し、映像全体がYoY, QoQで増収。

光学装置

キュア装置とローエンド露光装置はYoYで減収も、投影露光装置が好調で、光学装置全体ではYoY, QoQいずれも増収。

《1H前年比較》

FY14

FY15

YoY

《2Q直前期比較》

1Q

2Q

QoQ

(億円)

(億円)

売上高	セグメント	FY14 1H	FY15 1H	YoY	売上高	セグメント	1Q	2Q	QoQ
	映像装置	259	347	+87		映像装置	162	185	+22
	光学装置	120	120	+0		光学装置	44	75	+31
	照明装置他	7	11	+3		照明装置他	5	5	+0
合計		387	479	+91	合計		212	266	+54

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

光源事業セグメント概況

《1H前年比較》

売上高

増減 (%)

(億円)

340

391

+15.0

放電ランプ

271

321

+18.2

放電
ランプ

YoY、QoQいずれも増収。
YoYでは固体光源に関する
子会社2社を連結したため。

ハロゲンランプ

68

70

+2.1

ハロゲン
ランプ

円安影響により微増収。

FY14

FY15

《1H前年比較》

(億円)

FY14

FY15

YoY

《2Q直前四半期比較》

(億円)

1Q

2Q

QoQ

売上高 放電ランプ

271

321

+49

売上高 放電ランプ

157

163

+6

ハロゲンランプ

68

70

+1

ハロゲンランプ

35

35

+0

合計

340

391

+50

合計

192

199

+6

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

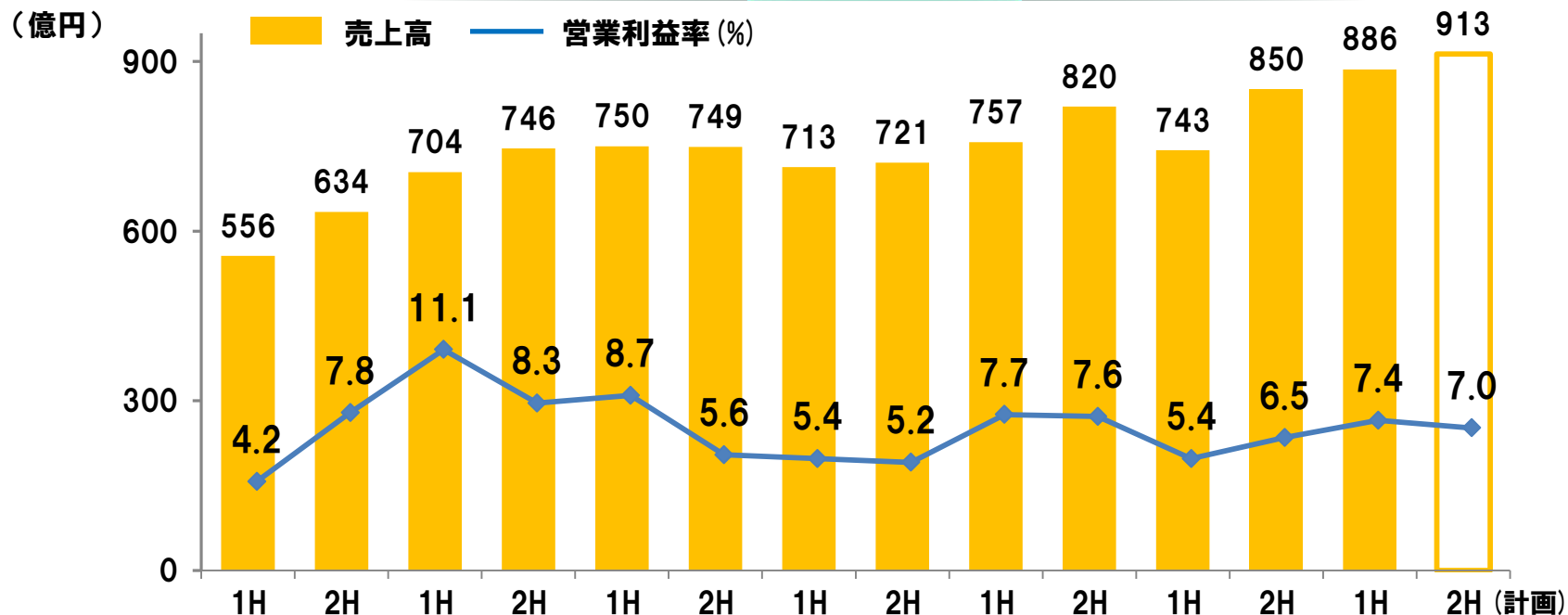
-
- I. 第2四半期業績概況
 - II. 通期業績見通し
 - III. 参考資料

通期業績見通し

(億円)		FY15 (計画)	1H 実績	進捗率(%) (対通期計画)	下期見通し (上期比)
装置事業	映像装置	750	347	46.3	DCPは約30%増、一般映像 用Boxerの販売も拡大
	光学装置	245	120	49.2	投影露光装置、光配向装 置の販売台数は増加
	照明装置他	20	11	56.7	
小計		1,015	479	47.2	
光源事業	放電ランプ	620	321	51.8	固体光源は微増収、その 他はほぼ横ばいで推移
	ハロゲンランプ	140	70	50.3	ほぼ横ばいで推移
	小計	760	391	51.5	
その他 事業	産業機械・ その他	25	15	61.0	
合計		1,800	886	49.2	

-
- I. 第2四半期業績概況
 - II. 通期業績見通し
 - III. **参考資料**

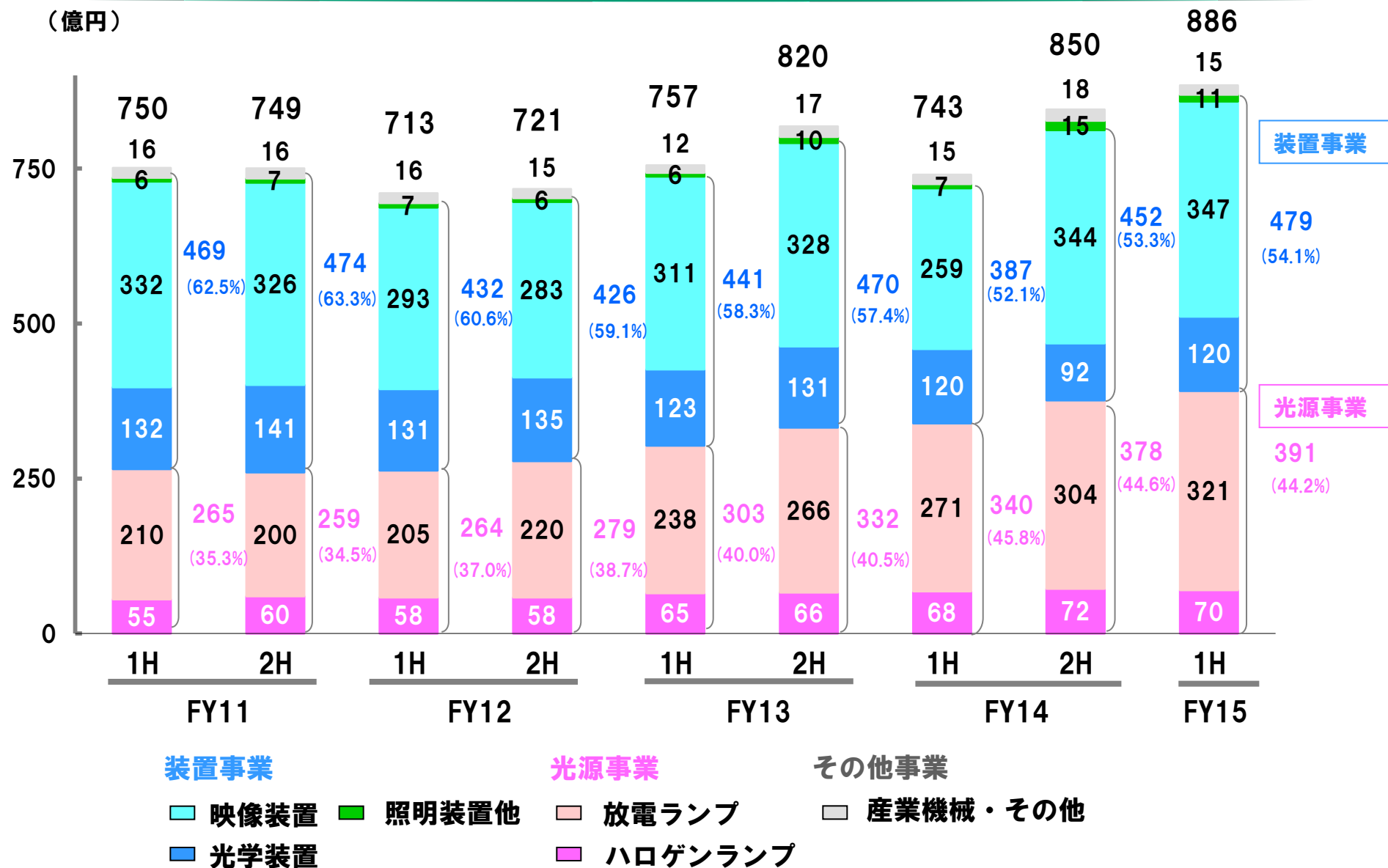
半期業績推移



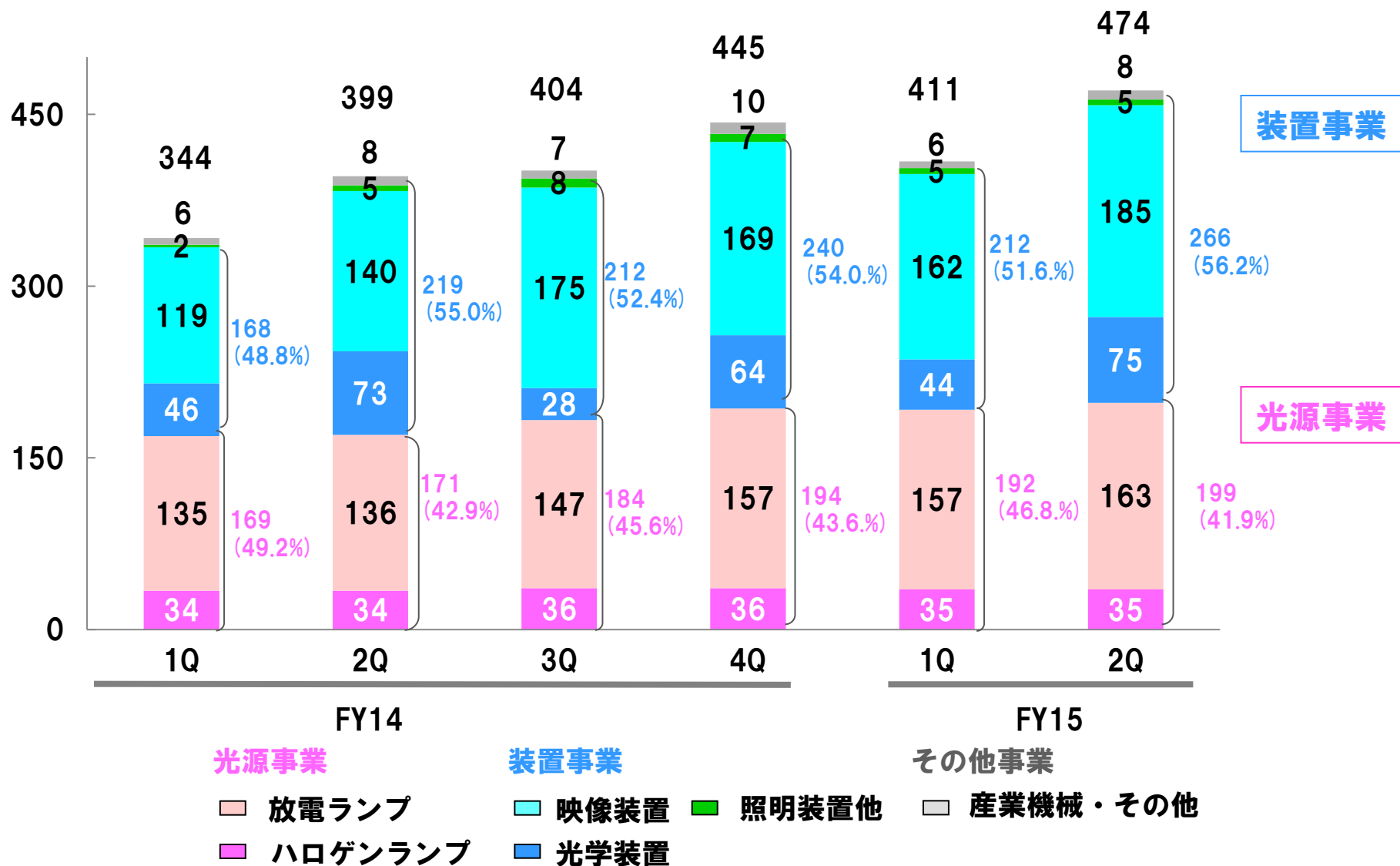
	FY09		FY10		FY11		FY12		FY13		FY14		FY15	
	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H (計画)
売上高	556	634	704	746	750	749	713	721	757	820	743	850	886	913
営業利益	23	49	78	61	65	41	38	37	58	62	40	63	65	64
営業利益率 (%)	4.3	7.8	11.1	8.3	8.7	5.6	5.4	5.2	7.7	7.6	5.4	6.5	7.4	7.0

サブセグメント別売上高 《半期比較》

(億円)

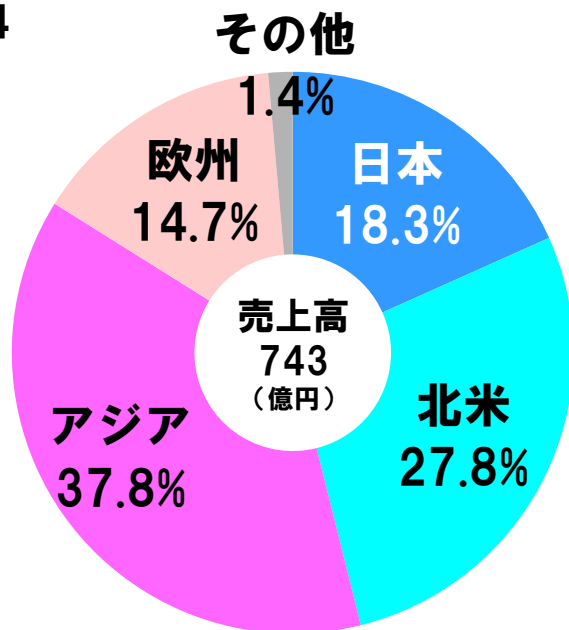


サブセグメント別売上高《四半期比較》

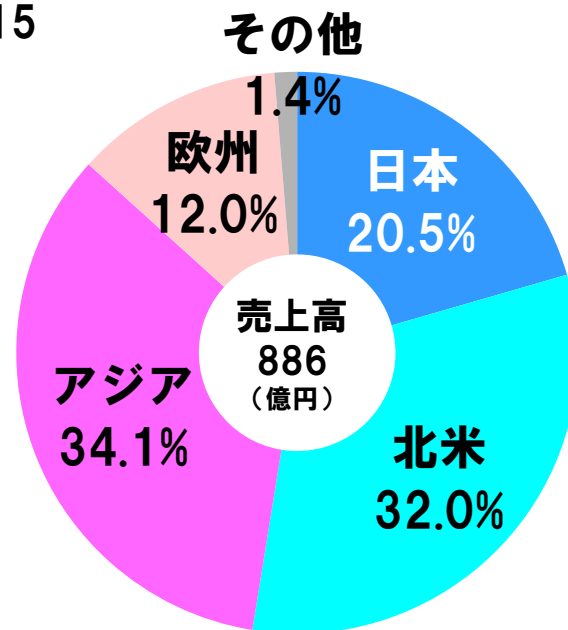


海外売上高比率 《1H》

◆FY14



◆FY15



営業外収支《1H》

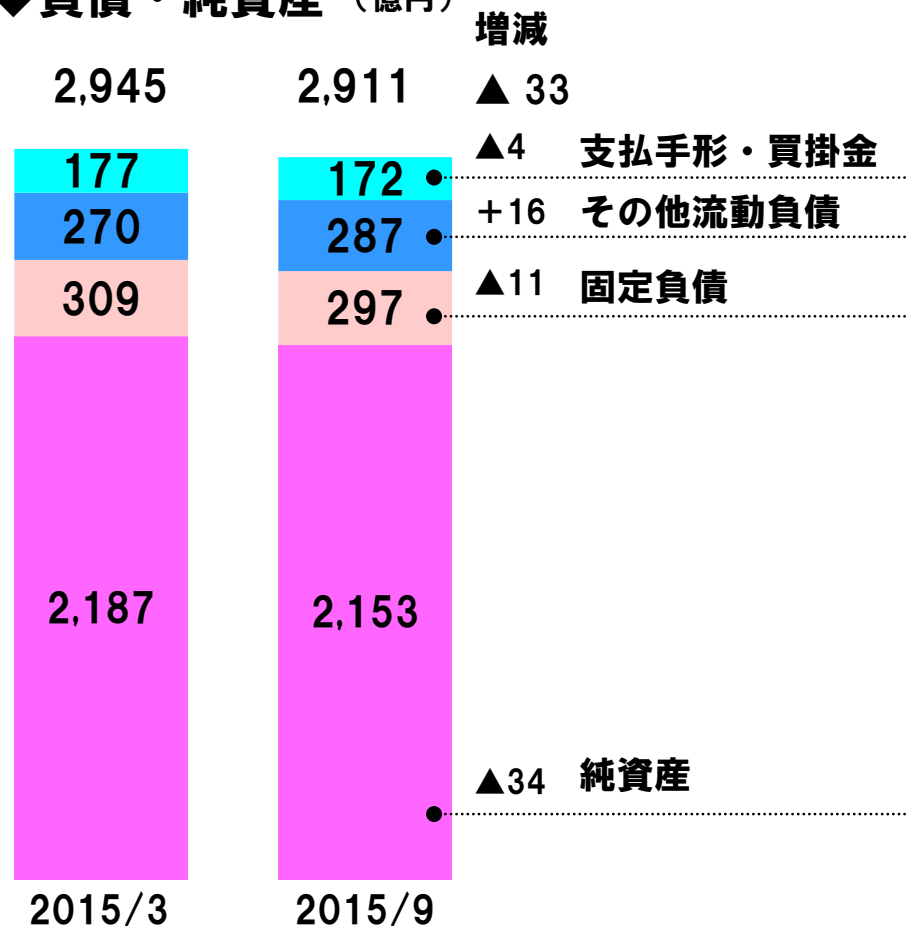
(億円)	FY14	FY15	YoY
営業外収益	14	12	▲1
受取利息	3	3	+0
受取配当金	5	5	+0
為替差益	-	3	+3
売買目的有価証券運用益	2	▲2	▲4
投資有価証券売却益	-	-	-
その他	2	2	▲0
営業外費用	2	2	▲0
支払利息	0	1	+0
為替差損	0	-	▲0
持分法による投資損失	0	0	▲0
その他	1	1	+0
営業外収支	11	10	▲1

BS内訳

◆資産 (億円)



◆負債・純資産 (億円)



●回転月数 (ヶ月)

2015/3 2015/9

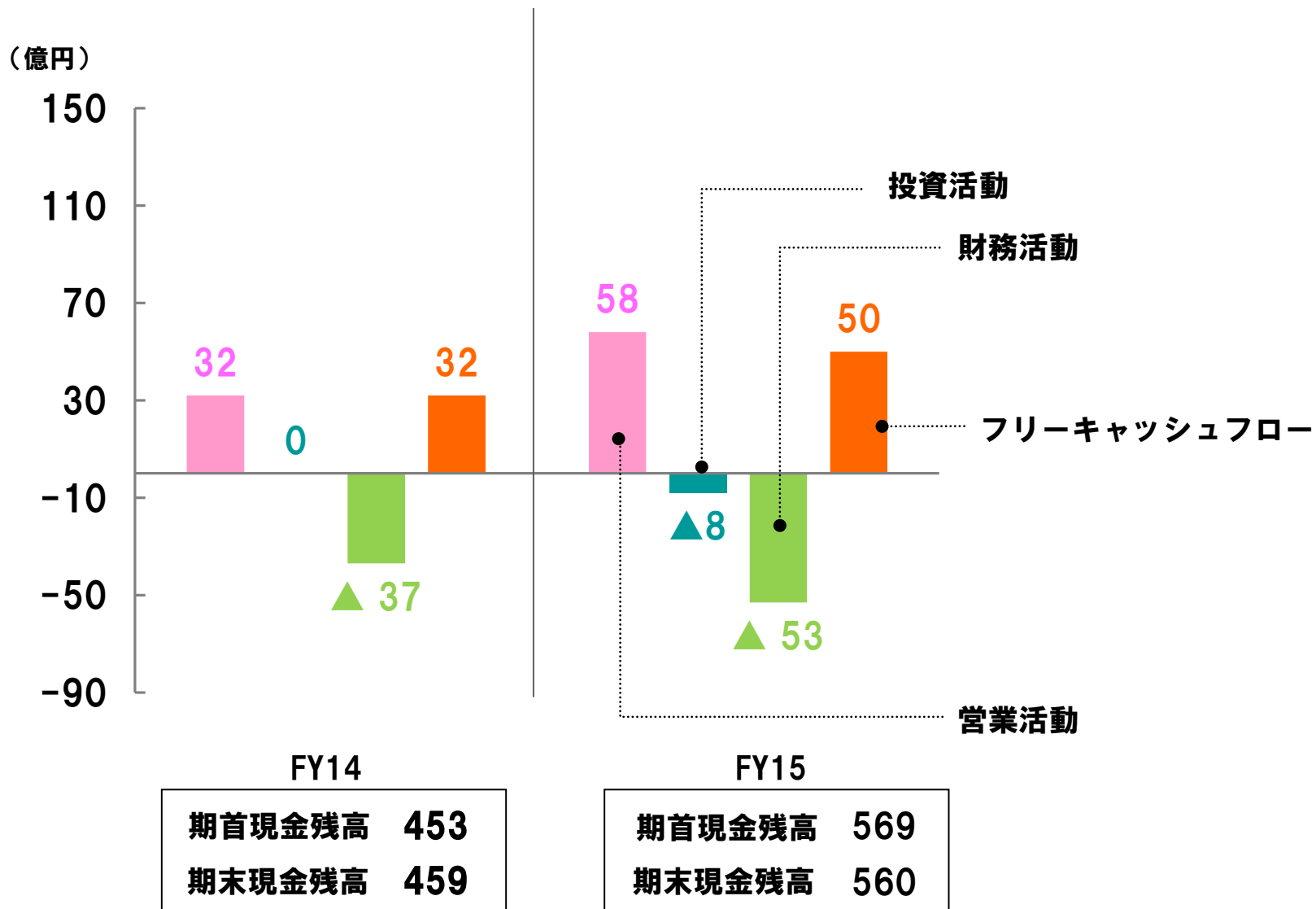
売上債権	3.0	2.6
たな卸資産	3.5	3.7

●自己資本比率 (%)

2015/3 2015/9

73.3	73.1
------	------

キャッシュフロー《1H》



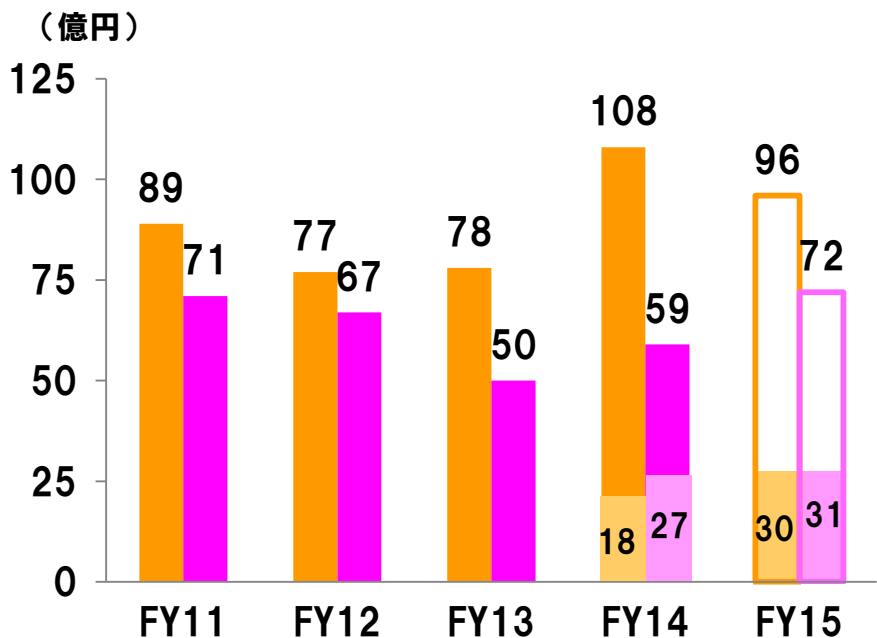
設備投資額・減価償却費・研究開発費

◆設備投資額・減価償却費

設備投資額



減価償却費



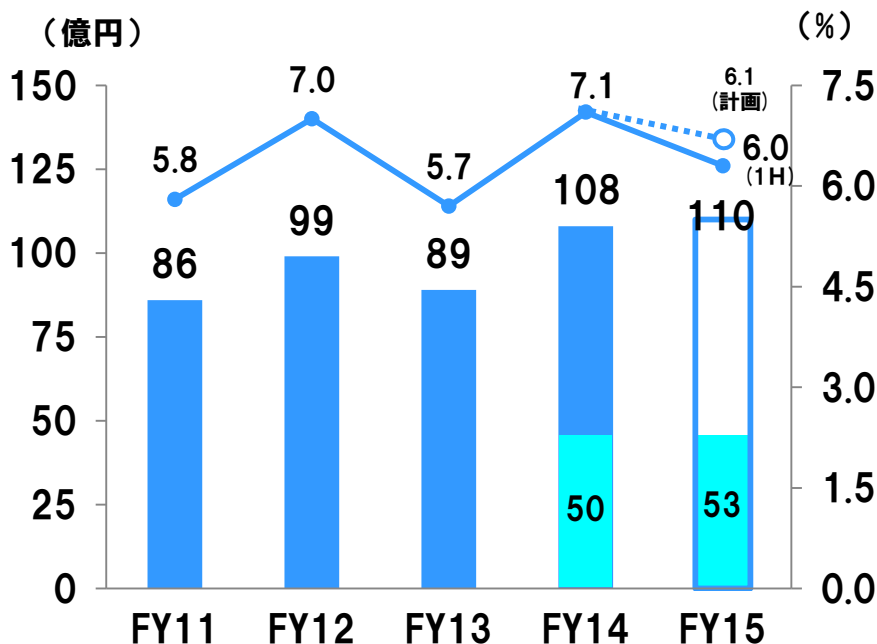
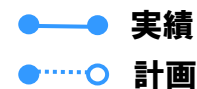
	1Q	2Q
設備投資額 (1H)	19	10
減価償却費 (1H)	15	15

◆研究開発費

研究開発費



売上高研究開発費率 (%)



	1Q	2Q
研究開発費 (1H)	25	27

T O P I C S

マックスレイを子会社化

2015年3月24日発表



今年4月、デザイン性の高い照明器具デザイン・開発に定評のあるマックスレイ株式会社をウシオライティングが100%子会社化。

LEDを中心とした、付加価値の高い照明事業のさらなる拡大を目指す。



ウシオプレミアムシアター誕生

2015年4月10日発表



今夏、ウシオ電機発祥の地、兵庫県姫路市で映画館のネーミングライツを取得。

姫路駅前のシネマコンプレックス「アースシネマズ姫路」内に「ウシオプレミアムシアター」(9番スクリーン)が誕生。

	担当会社	仕様
シアター施工	ジーベックス	ブースレス設計
デジタルシネマプロジェクター	クリスティ	クリスティ CP4220 1台 (4k解像度、3D対応、22,000ルーメン)
音響	クリスティ	クリスティ・ヴィヴオーディオ (スピーカ数53台)
ランプ	ウシオ	高輝度クセノンランプ (全映写機搭載)



パーソナル吸光度計 Picoscope®の 販売開始

2015年6月23日発表

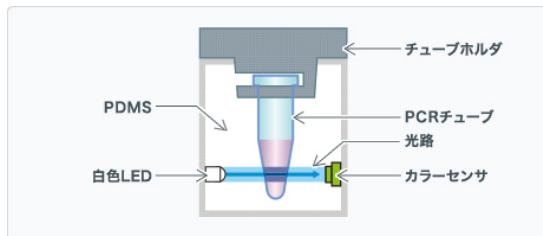
ウシオの吸光度計 ピコスコープ
P I C O S C O P E



2015年7月1日から販売開始。
新開発の光技術「Silicone Optical Technology (SOT※)」
を搭載することで、高精度な測定能力を有しつつ、
1人一台保有できる低価格(98,000円)を実現。

タブレットとも連携し、測定時間と測定者の負担軽減、
測定環境の改善に貢献。

■ 主な測定対象



※ SOTはシリコン樹脂を用いたモノリシックな光学系。樹脂への機能材料分散により迷光や散乱光の抑制、耐振動性・衝撃性にも優れており、ガラスなどを用いた従来の光学系に比べ小型高性能化を実現。

コロンビア大学と契約締結

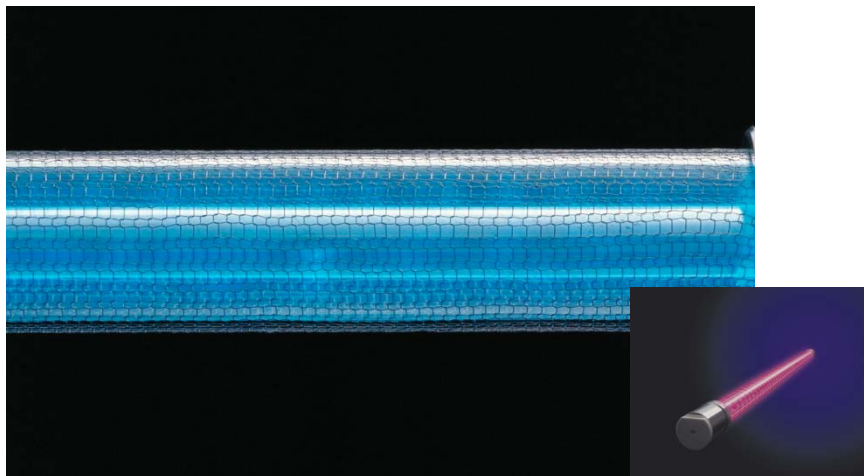
2015年6月24日発表



コロンビア大学と院内細菌感染防止のためのエキシマランプによる紫外線殺菌法の独占ライセンス契約及び研究委託契約を締結。

2015年冬から臨床研究開始、2017年ごろに製品化を計画。

今後も衛生・医療分野でエキシマランプによる安全で確実な殺菌用システムの事業化を目指す。



USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）コーポレートコミュニケーション部
（03）3242-1836
contact@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>